

【大阪公立大学大学院農学研究科】

学位授与申請の手引き・記載例

〔A〕学位授与（博士）申請について

● 課程博士

（５－２）・・・（本学学位規程第５条第２項による）博士後期課程に在学しているもので、既に所定の単位を修得した者または学位論文の審査の終了までに修得見込みのある者。

（５－３）・・・（本学学位規程第５条第３項による）博士後期課程に３年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者で、学位論文の審査が退学後１年以内に終了する見込みであることが研究科会議において認められた者。

● 論文博士

（５－４）・・・（本学学位規程第５条第４項による）博士後期課程を修了しないで学位論文を提出する者。

□ 提出書類は、『学位論文審査実施要領』の申請手続の項、「(提出書類等一覧)」、および、下記の留意事項を参照の上、申請手続を行ってください。

記

【留意事項等】

- ① 論文目録の参考論文の欄には、本論文の参考となる論文を添付して提出する場合のみ記載してください。
- ② この他にも承諾書などが必要な場合があります。
- ③ 論文博士は、審査料５７，０００円が必要です。
（令和４年４月１日現在の状況で、今後改訂される場合があります。）
- ④ 申請受付時間は、午前９時から午後３時までです。
- ⑤ 論文表紙の写しは、論文と申請書・論文目録・申請者紹介・論文要旨（氏名・題目）の統一を図るため提出願います。

〔B〕学位授与（修士）申請について

□ 『修士』の学位授与申請の申請手続の項を参照の上、申請手続を行ってください。

〔C〕学位授与申請提出書類の記載例について

□ 次ページからの「～記載例～」を参照ください。

～記載例～

様式第1号その1（第5条第2項の規定による場合）

学位授与申請書

20XX 年 月 日

大阪公立大学長 様

大学院農学研究科

○ ○ ○ ○ 専攻

氏名 澤田 一郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入。（“沢田”は不可）
書類によって異なる氏名表記を用いないでください。

※学位授与申請書に記載された氏名で学位記が授与されます。

大阪公立大学学位規程第5条第2項の規定により
博士（農学）の学位の授与を申請します。

注意 ○学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり提出
すること。

学位授与申請書

20XX年 月 日

大阪公立大学長 様

大学院農学研究科

○ ○ ○ ○ 専攻

氏名 澤田 一郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入。（“沢田”は不可）
書類によって異なる氏名表記を用いないでください。

※学位授与申請書に記載された氏名で学位記が授与されます。

大阪公立大学学位規程第5条第3項の規定により
博士（農学）の学位の授与を申請します。

- 注意
1. 学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり提出すること。
 2. 単位修得証明書は、1通提出すること。

学位授与申請書

20XX年 月 日

大阪公立大学長 様

氏 名 澤 田 一 郎

※すべての提出書類に“澤田”で記入。（“沢田”は不可）
書類によって異なる氏名表記を用いないでください。

※学位授与申請書に記載された氏名で学位記が授与されます。

大阪公立大学学位規程第5条第4項の規定により
博士（農学）の学位の授与を申請します。

注意 ○学位論文の要旨は、4,000字以内とし、別途指定のとおり
提出すること。

論文目録

20XX年 月 日

大阪公立大学長 様

氏名 澤田 一郎

学位論文

- | | |
|------------------|--|
| 1. 題 目 | Study of ○○○××× |
| | (○○○×××に関する研究) |
| 2. 公表の方法
及び時期 | 論文審査終了後、1年以内に大阪公立大学
学術情報リポジトリの利用により公表予定 |
| 3. 冊 数 | 3 冊 |

参考論文

- | | | |
|------------------|---|------------------|
| 1. 題 目 | } | 参考論文が無い場合にも記入しない |
| 2. 公表の方法
及び時期 | | |
| 3. 冊 数 | | |

- 注 意
1. 学位論文の題目が外国語の場合は、和訳文を付記すること。
 2. 参考論文が2種類以上あるときは、列記すること。
 3. 学位論文が公表されていない場合は、その予定を記載すること。

様式第3号

履 歴 書			
フリガナ	サワ タロ イチ ロウ		男 ・ 女
氏 名	澤 田 一 郎		
生 年 月 日	19XX年 月 日生 (満 才)		
本 籍	都 道 府 県 (注：都道府県のみ記入)		
フリガナ			電 話 XXX-XXXX-XXXX
現 住 所	〒		
年	月	日	学 歴
2016	3	31	大 阪 府 立 ○ ○ ○ 高 等 学 校 卒 業
2016	4	1	○ ○ 大 学 △ △ 学 部 □ □ 学 科 入 学
2020	3	31	同 上 卒 業
2020	4	1	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士前期課程応用生命科学専攻 入学
2022	3	31	同 上 修 了
2022	4	1	大阪公立大学大学院農学研究科博士後期課程応用生物科学専攻 入学
2025	3	31	同 上 修了見込み
年	月	日	職 歴
20XX	△	◇	○ ○ ○ 株 式 会 社 入 社
20XX	△	◇	○ ○ ○ 株 式 会 社 退 社
20XX	△	◇	○ ○ ○ 株 式 会 社 入 社
			現 在 に 至 る
			以 上

在職中のみ「現在に至る」と記載。退社して、その後の職歴がない場合は不要。

年	月	日	研 究 歴
20XX	△	◇	_____ 株 式 会 社 に て 研 究 に 従 事
			現 在 に 至 る
年	月	日	賞 罰
上 記 の と お り 相 違 あ り ま せ ん。 （ 仮 申 請 日 を 記 入 （ 論 文 博 士 の 場 合 は 申 請 日 ） ） 20XX 年 ○ 月 ○ 日 氏 名 澤 田 一 郎			

学位授与申請者紹介

農学研究科

ふりがな 氏 名 生年月日	さわだ いちろう 澤田 一郎 19XX年△△月◇◇日生		性 別	男・女
本 籍	(都道府県の み記入)	現住所		
該当規程	本学学位規程第 条第 項による 博士（農学） 【様式第1号に合わせる】 学位規程第5条第2項～4項のいずれか			
論文題目	【論文目録のとおり記入】 <英文タイトルの場合> 英文タイトル（和文タイトル） <和文タイトルの場合> 和文タイトル			
学 歴	【履歴書のとおり記入】 2016年3月31日 大阪府立〇〇高等学校卒業 2016年4月 1日 〇〇大学△△学部□□学科入学 2020年3月31日 同上 卒業 2020年4月 1日 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 博士前期課程応用生命科学専攻入学 2022年3月31日 同上 修了 2022年4月 1日 大阪公立大学大学院農学研究科 博士後期課程応用生物科学専攻入学 2025年3月31日 同上 修了見込み			
職 歴	【履歴書のとおり記入】			
備 考	発表論文等は別紙のとおり 本論文に関するもの及びその他の論文			

注：発表論文は、別紙に著者名、論文名、掲載誌名および発表年月を年代順に記載するのが望ましい。

【参考－記載例】

（別紙）については一例です。各専攻で異なる部分がありますので詳細については、専攻でご確認ください。

=====

（別紙）

<本論文に関する発表論文>

著者名

タイトル

掲載雑誌名（発表年） 巻，ページ

<その他の論文>

著者名

タイトル

掲載雑誌名（発表年） 巻，ページ

（例）

Ichiro Sawada, Taro Koudai, Hanako Kouritsu, and Jiro Osaka.

J. Agric. (2022) 123, 12345-12355.

（留意事項等）・・・専攻で必ずご確認ください。

- （１）<本論文に関する発表論文>と<その他の論文>に分けて記載するほうがよい。
- （２）論文が複数のときは現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記載するほうがよい。
- （３）著者名のうち申請者名は太字で一重下線を記すほうがよい。
- （４）掲載雑誌名は略誌名でもよい。（各専攻でご確認ください。）
- （５）発表年は西暦で記載するほうがよい。
- （６）ページは最初と最後のページを記載するほうがよい。

※この様式は、共著者の方が記入するものです。必要な場合に提出してください。
様式第5号

承 諾 書

大阪公立大学大学院農学研究科長 様

著者名(共同者名)	論 文 題 名	書名又は雑誌名(巻・ページ)	発行年月日

上記論文を 申請者氏名 澤田 一郎 氏が学位論文に使用することを承諾します。

20XX年 月 日

氏 名 (自 署) 共著者サイン

20XX年 月 日

大阪公立大学大学院農学研究科長 様

大学院農学研究科

〇〇〇〇 専攻

学籍番号 〇〇〇〇〇

氏名 澤田 一郎

単位修得退学に伴う学位授与申請資格認定願

私は下記の通り、単位修得退学を予定しておりますが、大阪公立大学大学院学則第20条第2項の規定にもとづき、退学後1年以内の博士論文審査終了に向けて、学位授与申請論文を作成中です。つきましては、退学に際して、貴研究科の課程博士学位授与申請資格を認めていただきますよう、お願い申し上げます。

1. 退学予定年月日	20XX年 〇 月 〇 日
2. 単位修得状況	必修科目19単位修得済/見込
3. 入学年度	20XX年度
4. 学位授与申請予定の 論文題目	S t u d y o f 〇〇〇××× (〇〇〇×××に関する研究)
論文作成の進捗状況	<退学後1年以内の学位論文審査終了ができるような進捗状況であることを、説明してください> 例)20XX年〇月頃完成予定、20XX年1月本申請(同年3月学位授与の場合の本申請)で提出できる見込みである。
5. 研究指導教員の所見	<上記の本人からの説明だけではなく、研究指導教員としても、確かに退学後1年以内の学位論文審査終了ができるような進捗状況であることを確認している旨説明してください> 例) 上記学生の研究成果を鑑みると、本専攻の定める学位授与申請資格に既に該当しており、現在の論文作成の進捗ぶりからも、単位修得退学後1年以内に学位授与審査終了となるよう学位授与申請ができる見込みです。 研究指導教員氏名(自署) 〇〇 〇〇

(様式1)

大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

20XX 年 月 日

大阪公立大学図書館機構長 様

- ☐ 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文を本学の学術情報リポジトリに登録し公表することを申請します。
- ☐ 私が大阪公立大学に提出した博士学位論文について、全文に代えて要約を公表することが認められたので、要約を本学の学術情報リポジトリに登録し公表するとともに、博士論文全文（冊子）を本学図書館に保管を委託し閲覧に供することを申請します。
(上記のいずれか1つに☑をしてください。)

フリガナ

サワダ イチロウ

博士論文提出者 氏名（自署）

澤田 一郎

研究指導教員等※1として、上記を了承します。※2

研究指導教員等※1 氏名（自署）

公大 太郎

論文題目（和文）	〇〇〇×××に関する研究（←欧文で論文を執筆している場合も記入）
論文題目（欧文）	Study of 〇〇〇 ×××（←和文で論文を執筆している場合も記入）
研究指導教員等※1の 所属・職・氏名	農学研究科××専攻 教授 公大 太郎
その他の連絡事項	
電子データ 提出予定日	20XX 年〇月〇日（この書類の提出の後に電子データを提出する場合）

連絡先

所 属	<課程博士の場合は研究科・専攻を、論文博士の場合は所属を記入>
住 所	<学位授与後に連絡がとれる住所を記入>
電話番号	<学位授与後に連絡がとれる電話番号を記入>
電子メールアドレス	<学位授与後に連絡がとれる電子メールアドレス（omu アドレス以外）を記入>

■リポジトリ登録について共著者の許諾を事前に得ておくこと。

■全文に代えて要約を公表することが認められた場合は、学位論文要約、及び全文の電子ファイルを提出してください。なお、公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合は、速やかに学位論文全文をリポジトリで公表し、冊子体の学位論文は原則として廃棄します。

■電子ファイルは、PDF 化して電子媒体にて、教育推進課、学務課、羽曳野キャンパス事務所又はりんくうキャンパス事務所の各研究科窓口へ提出してください。

■記載いただいた事項は目的外の用途には使用しません。

■連絡先については、修了後も連絡が取れる電話番号、アドレスを記載してください。また、電子メールアドレスには、大学から付与された omu アドレス以外を記入してください。

※1 研究指導教員等：研究指導教員又はそれに相当する者を指す。

※2 公表できない事由が解消して全文公表が可能となった場合、研究指導教員等の自署のみ省略可能です。

(様式2)

学位論文全文に代えて要約を公表することの
申 立 書

20XX 年 月 日

大阪公立大学長 様

申立者 住 所 ○ ○ ○
氏 名 (自署) △ △ △ △

研究指導教員等 所属・職 ▽ ▽ ▽ ▽
氏 名 (自署) □ □ □ □

学位取得者 氏 名	△ △ △ △		
学位の名称	博士 (農学)	取得年月日	(学位授与日を記載) 20XX年3月31日
学位論文名	<タイトルを記入>		
全文に代えて要約を公表する事由 → (下記該当項目に☑を記入)			
☐ 当該論文に立体形状による表現を含むため			
☐ 著作権や個人情報に係る制約があるため			
☐ 共同研究者等が非公表と定めている事項を含むため			
☐ 出版刊行をしているため		☐ 出版刊行が予定されているため	
☐ 学術雑誌に掲載されているため		☐ 学術雑誌に掲載が予定されているため	
☐ 特許の申請があるため		☐ 特許の申請が予定されているため	
☐ その他 ()			
要約を公表する 期 間	20XX 年○月○日まで		

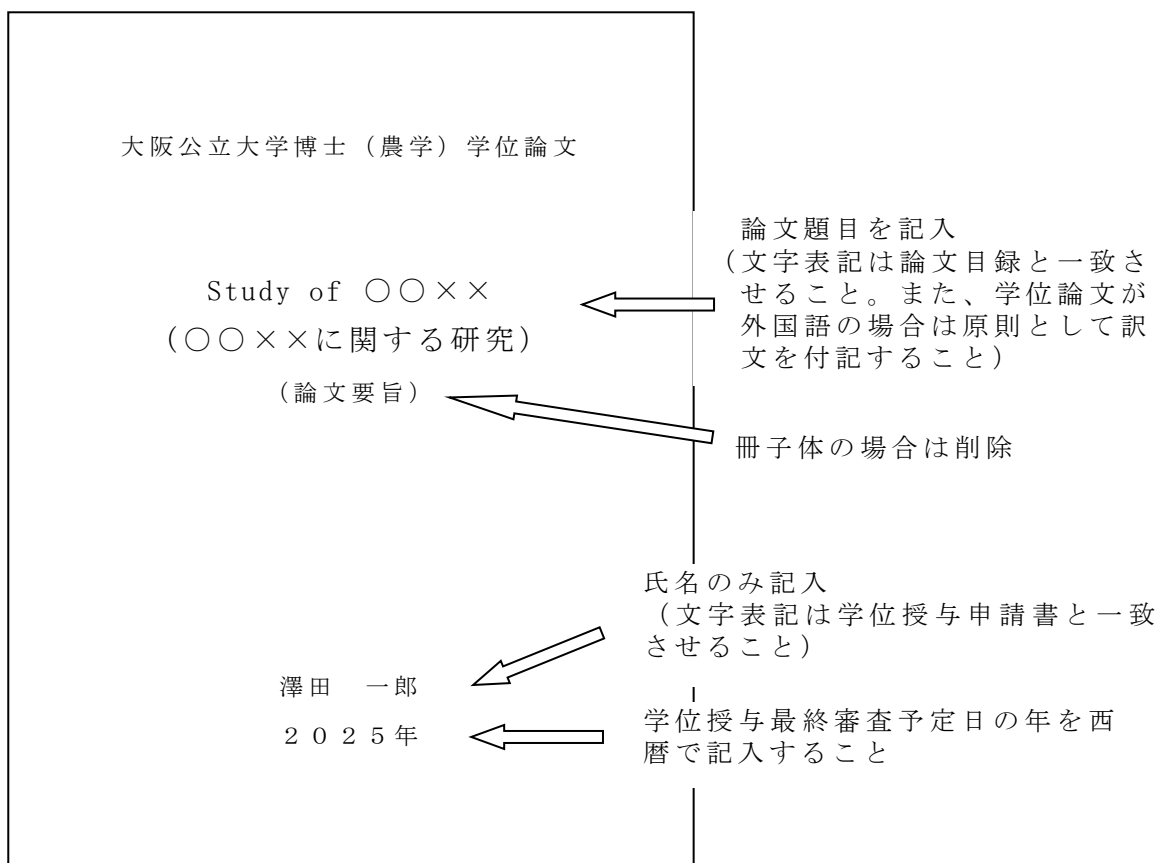
※要約公表期間は学位授与日から 5 年以内(立体形状、著作権、個人情報又は共同研究に係る制約がある場合を除く)。当初の要約公表期間を延長する場合は、改めて本様式を研究科に提出する。

※延長する場合には、研究指導教員等自署のみ省略可能。

注 意: 1. 要約を添付すること。 2. 要約の書式は問わない。

《 学位論文冊子体及び論文要旨の標準的な書式設定（博士論文用） 》

◎学位論文冊子体及び論文要旨の表紙見本：



◎論文要旨の書式設定

用 紙：A4、本文3ページ以内（表紙を含め4ページ）

（横折でA3用紙1枚の裏表に印刷することが望ましい）

1ページ目（表紙）・・・上記表紙見本参照

2～4ページ目（要旨）・・・指定なし

（博士論文の構成に合わせて章立て等を行い、分かりやすい記載とすることが望ましい）

※論文要旨の最終部分には、学位論文に関する発表論文等一覧は記載しない。

余 白：上＝30 mm，下＝25 mm，左＝25 mm，右＝25 mm

文 字 数：和文の場合4,000字以内，英文の場合1,500語以内

フ ォ ン ト：12ポイントのMS明朝などの明朝体及びTimes New Romanなどのセリフ体

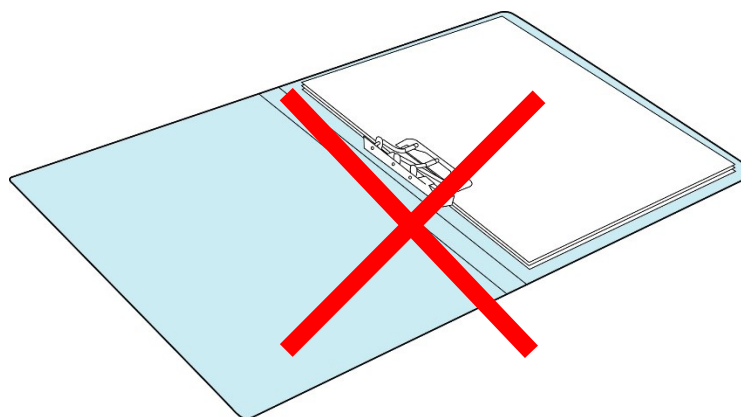
文字数と行数：40文字／行程度，40行／ページ程度の読みやすい設定とすること

◎冊子体の形状

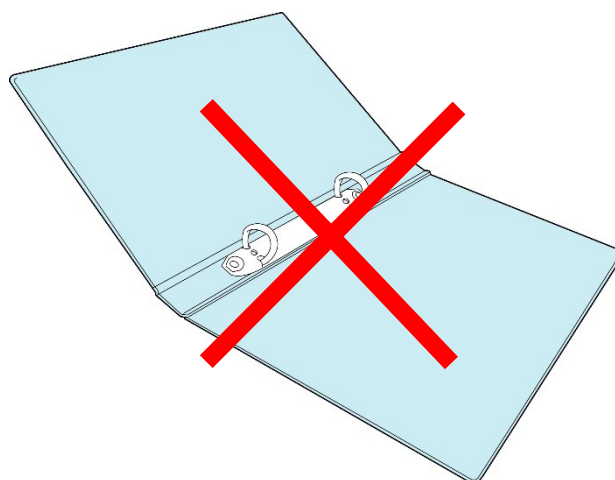
やむを得ない事由により、学位論文全文に代えて要約公表を希望する者は、それが承認された場合（学位授与の審議後、別日に要約公表の是非を審査します）、共閲等により、頁の抜け落ちなどの可能性がない綴じられた形状（注1）のものを2部、教育推進課まで提出すること。（本申請時において、頁の抜け落ちなどの可能性がない綴じられた形状で提出している場合は、再提出不要）

（注1） 供閲により、頁の抜け落ちなどの可能性がある形状の例。

* レバーファイル



* リングファイル



《 修 士 用 》

研 究 指 導 教 員 （ 自 署 ） _____

※ 研究指導教員が助教の場合→副研究指導教員（講師以上）の署名が必要

様式第1号その1（第5条第1項の規定による場合）

学 位 授 与 申 請 書

20XX年 月 日

大 阪 公 立 大 学 長 様

大 学 院 農 学 研 究 科

○ ○ ○ 専 攻

氏 名 公 大 太 郎

大 阪 公 立 大 学 学 位 規 程 第 5 条 第 1 項 の 規 定 に よ り
修 士 （ 農 学 ） の 学 位 の 授 与 を 申 請 し ま す 。

修士論文題目

{ 応用生物学
生命機能化学
緑地環境科学 専攻

申請者氏名 公大太郎

論 文 題 目
(枠外の「注」を参考にして記入してください。)

注：楷書でていねいに記入すること。枠からはみ出さないこと。
英文は活字体で記入し、大文字、小文字の別をはっきり示すこと。
論文題目が外国語の場合は、訳文を付記すること。
注：論文題目でイタリック（斜体）などを使用する場合は、
判別できるように記載すること。